

授業科目名	政治学特論（地域研究Ⅱ）	選 択	開講年次	3	単位数	2
科目区分	専門科目／教科に関する科目（地歴）					
サブタイトル	アジア研究への誘い		担当者	菊島 啓		
講義概要	<p>【概要】</p> <p>地域研究Ⅰで修得した視点と方法を基に、研究対象地域をアジアに限定してアジアの地域社会の政治・経済・社会・文化を学ぶ。「アジア」とは何かといった疑問から検討をはじめ、アジア社会の特徴を概説する。</p> <p>【到達目標】</p> <p>南アジア、東南アジア、東アジアの共通性と個別性を検討し、アジア地域社会の理解を深めることを目標とする。</p>					
履修条件	地域研究Ⅰの単位を取得した者。					
教科書・参考書	<p>【教科書】</p> <p>【参考書】</p> <p>石井米雄『アジアのアイデンティティ』（山川出版社、2000年）</p>					
授業回数	内容					
1	ガイダンス、アジアをどう理解したらよいか、研究対象地域としてのアジア					
2	アジアとは1：方角概念、文明発祥の地					
3	アジアとは2：歴史概念、地域概念、アラム語とは					
4	東西交渉史1：東から西へ					
5	東西交渉史2：西から東へ、マルコ＝ポーロなど					
6	モンゴル帝国による支配					
7	アジアへの道、陸のダイナミズムと海のダイナミズム					
8	アジアの植民地化					
9	南アジアの社会と文化					
10	東南アジアの社会と文化					
11	豊かなアジア、貧しいアジア					
12	東アジアの社会と文化1：（中国）					
13	東アジアの社会と文化2：（朝鮮半島）					
14	現況のアジア社会					
15	総括と補足					
評価方法	平常点（出席と受講態度）20%、定期試験80%の総合評価、ただし受講生の人数等の関係で定期試験に替えてレポートないし、その他の方法を取ることがある。その場合講義中に説明する。					
評価基準	上記授業内容について、積極的に授業に参加し、十分その内容を理解した者には「A」、また、その程度によって「B」ないし「C」を与える。授業参加および理解度が著しく低い場合は、その程度によって「D」または「E」とする。					
その他	特になし					